



ゆう  
友



ゆう  
湯



かもめ  
鳴

# 荒浜地区まちづくり協議会 会報 第36号

**荒浜が好き！  
みんなで作る私たちの  
ふるさと**

発行日 令和2年4月1日

編集 荒浜地区まちづくり協議会

住所 宮城県亶理郡亶理町荒浜字中野33  
荒浜地区交流センター内(旧荒浜支所)

電話 0223-36-8189 FAX 0223-36-8190

Email [wa.tukuri.ara@iaa.itkeeper.ne.jp](mailto:wa.tukuri.ara@iaa.itkeeper.ne.jp)

## みやぎ鎮魂の日 3.11 東日本大震災追悼供養 会場：鎮魂の杜



あの日と同じ青い空に、沁み通るような尺八の献奏『追分』



愛おしそうに花を手向ける姿が印象的でした。



長い時間、静かに手を合わせ祈りを捧げるお二人。

『光陰矢の如し』と言われるのですが、あの日から、九年が過ぎました。今年も、慰霊碑前に大勢の方々が集い、花と線香を手向け在りし日の故人に思いを馳せていました。二時四十六分の鐘楼に合わせて、黙祷を捧げご冥福を祈りました。

防災公園内にある鎮魂の杜は、築港地区の三角公園に由来し、形状も三角形になっています。慰霊碑の周囲を町花『山茶花』で囲みます。さらに、その周辺には大島桜の蕾が色づき始め、今や遅しと春を待ちわびる様子が伺えます。

みやぎ鎮魂の日は犠牲者 306 名のご冥福を祈る大切な日であることと、この地で暮らした人達が、意に反して故郷を離れたことを。私達は決して忘れてはならない。



ご冥福を願い、お祈りを捧げることは宗教宗派を超えます



強風の中、犠牲者のご冥福をお祈りし、献花します。



慰霊碑前で全員が黙祷を捧げました。神戸や名古屋の遠方からも献花に。



献花の列が長く長く続きます。列の間隔も例年より広くして。



# 新春 方言かるた取り大会 1月18日(土)



今年の大寒は例年より気温が高く、穏やかで過ごし易かったですね。毎年恒例の「方言かるた取り大会」を荒浜地区交流センターで開催したところ、限られた時間ででしたが大勢の皆さんと楽しい時間を過ごしました。「仙台弁かるた」は、絵札の頭文字が、読み札の文中に来ることもあり、判断力が試され、スリル満点で気迫のこもった真剣勝負となりました。「亘理のいろはかるた」は、亘理の名産・名所が沢山盛り込まれており、絵札がとても綺麗で親しみ易かったです。終了後に荒浜婦人会の皆さんに調理して頂いた甘くて美味しい『お汁粉』を。ご馳走様でした。とても美味しかったので、あちこちの席からおかわりの声が続きました。



今度は負けないよ！！  
子供の気迫に大人もタジタジ



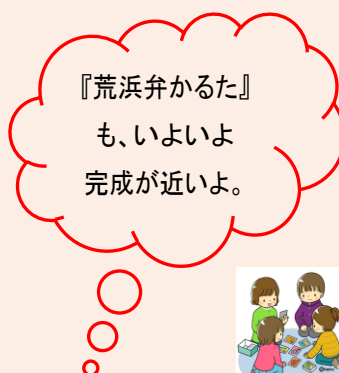
ハイー！ お手付きで〜す



ありました〜。これかな？



楽しかったゲームの後は婦人会の皆さんから調理して頂いたお汁粉で和やかな交流会です。



『荒浜弁かるた』  
も、いよいよ  
完成が近いよ。



天下ーのお汁粉ですよ ♥



僕はジュニアチャンピオンだ

## 部会の動き 安心部会長 武者清一

安心部会が令和2年度に担当する事業は、10月の『荒浜復興祭カラオケ大会』と11月の『和光市交流事業』を予定しております。カラオケ大会当日は交流センター駐車場での模擬露店やお楽しみ抽選会もあります。

皆様のご来場をお待ちしております。

今はコロナウイルス感染防止対策で大変な状況ですが、一人一人が衛生面に気を付けて、元気に明るい毎日を過ごしたいですね。

## 第29回 協働のまちづくり推進連絡会議

第29回『亘理町協働のまちづくり推進連絡会議』が開催され、協議会の今後の在り方について審議されました。特に、働き方改革に伴う職員の身分保障や職務内容に大きな変更が見られました。

亘理町は“協働のまちづくり条例”制定の数少ない市町村です。今年協議会が誕生して10年。協働のまちづくりの推進と第5次亘理町総合発展計画との整合性を見直す良い機会と思われま。



挨拶を述べる櫻井会長



五地区合同での会議



# 第29回 アリエ万風 陶芸教室

2月20日(木)



今回で29回目となる陶芸教室が蔵王町のアリエ万風からお二人の講師をお招きして、2月20日(木)に荒浜地区交流センターで開催されました。『荒浜の受講生の皆さんは元気で気さくな方達ばかりですね。』と講師のお二人が口をそろえて述べられた通り、開催日には朝から明るい笑い声が響いています。万風窯の出張陶芸教室は、手回しの『ろくろ』を使っての製作が基本です。製作途中で困ったことや悩んだ箇所には先生から丁寧なアドバイスを受け、また、好きな絵柄の転写シールを貼り付けると個性的な作品ができあがります。興味をお持ちの方は5月21日(木)に開催を予定しておりますので、お気軽にご参加ください。なお、ご案内は改めて「広報わたり5月号」に掲載いたします。**次回は記念すべき30回目!!** なにかあるといいなあ～。



ここが難しいのよ。できたできた。



皆さん、楽しく作りましょうね。



できました～。納得で～す。



今回も芸術作品に挑戦です



出来栄えに納得



初挑戦ですが・・・



難しいイメージでしたが、楽しく出来ました

## 巨理町立 全中学校卒業式(13日) ・ 全小学校卒業式(19日)

### 荒浜中学校卒業式 3月13日(金)



コロナウィルス感染対策が実施される中で、保護者並びに来賓不在の例年とは異なる卒業式が行われました。3年間共に励まし支え合えた仲間は宝物ですね。次は素敵な出会いが待っています。自分の夢や目標に向かってどんどん挑戦して下さい。ご卒業おめでとうございます。

### 荒浜小学校卒業式 3月19日(木)

ご卒業おめでとうございます。6年前に初めて背負った大きなランドセルよりも、今では皆さんの方が堂々とピカピカに光っています。立派に成長しましたね。いよいよ待ちに待った中学校生活が始まります。コロナウィルスに負けないで勉強に部活動に頑張ってください。





## ものづくり講座「甲冑製作プロジェクト」へ密着取材!!



昨年の6月から始まった「甲冑製作プロジェクト」も、次回が最終回という段階でコロナウイルス肺炎の影響により、やむなく自粛・延期になりました。

現在荒浜地区交流センターの講習室には6領の甲冑が並んでいます。その光景はまるで戦国絵巻を見ているようです。工程は特殊素材の工用厚紙から一つ一つ部品を切断し、穴あけや研磨、塗装などを数回繰り返して、数十点の部品が揃います。その部品を真田ひもで組み上げてようやく甲冑が完成します。さらに、兜づくりは細い形状の厚紙部品を数十枚繋いで個人の頭に合わせます。線状ひもで原型を作り漆喰で固めます。やすりで鏡面状になるまで研磨してから塗装を3回程度塗り重ねます。完成した作品は本物そっくりで金属製と見紛うほどに見える見事な出来栄になります。

今回は、初受講の高橋まち子さんに、直撃インタビューを試みました。現在小学四年生のお子様がお少時にテレビで見ていた仮面ライダーが大好きで、甲冑や歴史に興味を持ち、さらには白石の片倉公まつりに一緒に足を運ぶようになったとお聞きしました。高橋さんは荒浜地区まちづくり協議会での甲冑製作を知り、是非、子供用の手作り甲冑を作ってあげたいとの思いから受講を決意したとのことでした。『興味本位で気軽に講座に申し込みましたが、こんなにもたくさんの細かい工程があるとは思ってもみず、全てを一つ一つ手作業で進めるのはとても根気のいる作業でした。(今回のサイズは小学生用)。何度も何度も挫折しそうになりましたが出来上がってみるとクオリティの高い作品が完成して、とても感謝しています。今は、心地良い疲労感と達成感でいっぱいです。』



ボール盤で慎重に穴あけをする高橋さん



兜づくりが一番の楽しみ



サイズはどうか



母の手作り甲冑で若武者に変身!!



会長からアドバイスを受ける片岡さん



兜が一番大変でした(受講生:片岡さん)



細かい場所の穴あけがとても大変ですよ

### 令和2年度 総会のご案内

- 日時 令和2年度 4月22日(水)  
 時間 開会(19:00 受付 18:30より)  
 会場 荒浜地区交流センター 体育室  
 内容 (1)平成31年度 事業報告  
 (2)平成31年度 決算報告  
 (3)令和2年度 事業計画(案)  
 (4)令和2年度 収支予算(案)  
 (5)協議会規約一部改正

### 防災公園にも春が来る コロナウイルスに負けるな

待ちわびていた春がすぐそこなのに、臨時休校や各施設が閉鎖などで不自由な毎日を過ごされていることと思います。気温の上昇とともに、一日も早い収束を願いたいものです。人混みを避けて、うがい・手洗い・消毒・マスクの着用など、予防の為に一人一人が出来ることを実践したいものですね。

